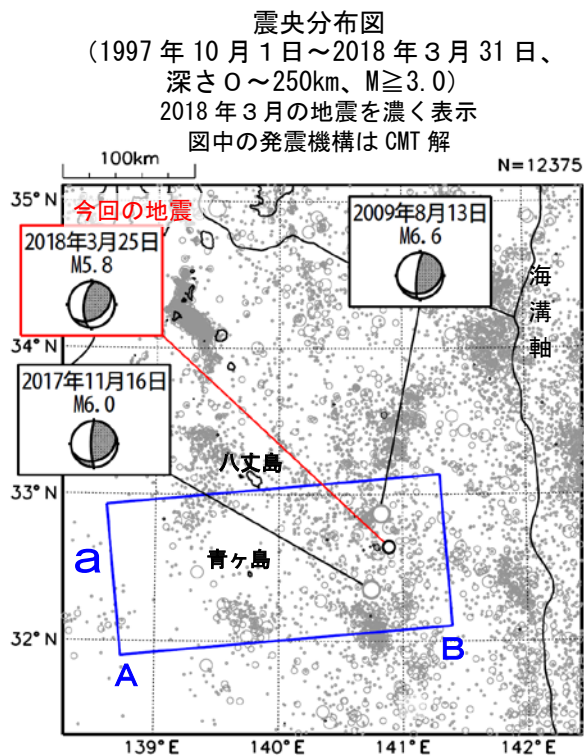
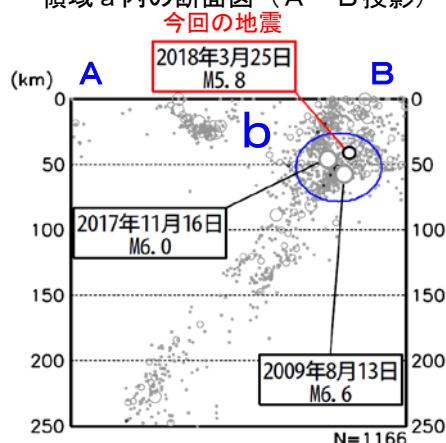


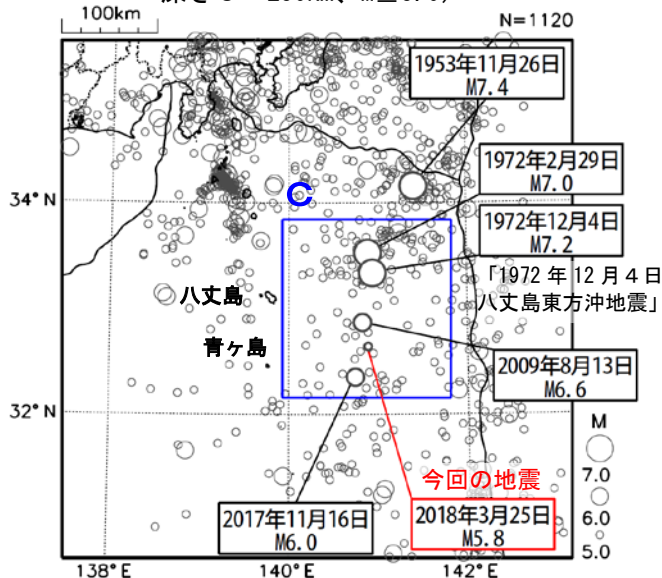
3月25日 八丈島東方沖の地震



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2018年3月31日、
深さ0～250km、 $M \geq 5.0$)

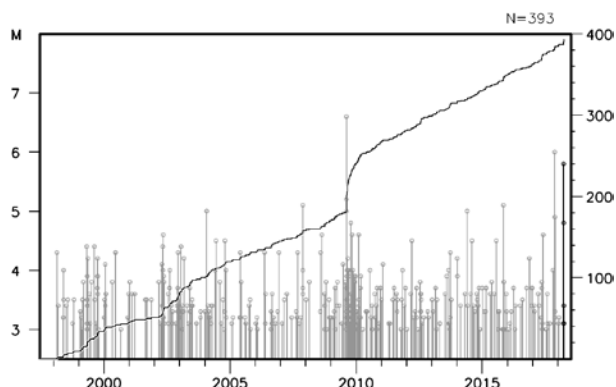


2018年3月25日23時37分に八丈島東方沖でM5.8の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2009年8月13日にM6.6の地震(最大震度5弱)が発生している。この地震の発生後、M5.0以上の地震が同日中に2回発生するなど、地震活動が一時的に活発化した。また、最近では、2017年11月16日にM6.0の地震(最大震度3)が発生した。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域c)では、1972年2月29日にM7.0の地震(最大震度5)が発生し、千葉県館山市布良で最大23cmの高さの津波が観測された。また、1972年12月4日にM7.2の地震(最大震度6、「1972年12月4日八丈島東方沖地震」)が発生し、和歌山県串本町袋港で最大35cmの高さの津波が観測された(いずれの地震も津波の高さは、験震時報(第38巻)による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

